

# みんなのわ

発行日	令和4年 2月19日
編集者	会長 勝俣三郎
発行	御殿場市ボランティア連絡協議会
電話	0550-70-6801

## ～新型コロナウイルスの終息を願って「どんど焼き・神楽奉納」～

新型コロナウイルス感染騒動が始まり、3年目を迎えてしまいました。人類最大の敵との戦いも次々と新しいウイルス「デルタ株」「オミクロン株」と世界が日本が今までの感染を上回る第6波。1月末「まん延防止等重点措置」が34都道府県に拡大、ボランティア行事のほとんどが自粛中止、コロナ禍以前には、当たり前だった人との触れ合いも出来ない現況です。

毎年お正月気分明けの小正月に、市内各地で、どんど焼き「道祖土焼き」が行われます。どんど焼きと言ったら、子供のころからの唄にもあります。「どんど焼き14日お猿のけつは真赤か」と1月14日に行うものとされて来ましたが、近年あらゆる行事の日時が歴史に構わず変更され地域ごとバラバラに行われております。私の住む東山区では、1月8日(土)に行いました。また私の組内は、昔から道祖神をお正月飾りで飾り付けをして、お神酒を供えます。参加者が道祖神に向い「二礼二拍一礼」そして数秒の空白時間に各々参列者の思いを心中で唱えてから、どんど焼きの山に、その年の当番が点火し行います。今年も昨年と同じコロナ禍により振る舞い事こそ自粛のため有りませんでした。が、どんど焼きの火に体を当て、おき火で焼いた団子を食べると、一年疫病など病気から身を守ってくれると語り継がれており、「私自身」今も信じて実行しています。昔むかし各地で流行り病が発生し広まり、村に入って来ないように、村の辻々にお正月のお飾りや太い竹で作った門松などの山を盛上げ燃やし、神様に疫病祓いのお願いをした行事だと、おじいちゃんおばあちゃんや村の先人おじさん達から聞きました。

また、東山では東山湖から箱根山側に鎮座する巖島神社で、毎年お正月に神楽保存会により奉納神楽が行われます。1月23日 コロナ禍のため神社はすべての窓を開けて行いました。神楽の舞、お囃子の笛・太鼓に合わせ繰り返し「悪魔を祓ってめでたいしょう」と唱えられ、人類の平和・五穀豊穡・無病息災を祈願して、神楽の舞を奉納しました。

正に現在の新型コロナウイルス感染がその「悪魔・疫病」ではないでしょうか。世界中・日本中そして市民の皆さんに今しばらくの自粛を求め、コロナ禍終息を最優先して、コロナ禍以前の生活、ボランティア活動を取り戻しましょう。



## ～御殿場市身体障害者福祉会～

御殿場市身体障害者福祉会の会員は、230名です。

会員の皆さんは、70歳～80歳になり、行事を開催しても参加できる方は、100名くらいです。今年度は、毎年開催しているグラウンドゴルフ、フライングディスク、研修会等会員の皆さんは楽しみにしておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により残念ながら実施できませんでした。来年度は、収束を願って会員一同楽しみにしております。開催された際は、皆様もご参加ください。お待ちしております。

＜御殿場市身体障害者福祉会年間行事＞

- ・グラウンドゴルフ大会
- ・パークゴルフ大会
- ・フライングディスク
- ・ふれあい広場
- ・ふれあい交流会



＜連絡先＞

御殿場市身体障害者福祉会

〒412-0006

御殿場市中畑 258-5

☎0550-89-3863

【担当：出原文男】

## ～御殿場・小山レスキューサポートバイクネットワーク～

御殿場・小山（RB）レスキューサポート・バイクネットワークは、27年前の阪神淡路大震災後「自分の町は自分で守ろう」を合言葉に発足しました。

「物はみな生きている」地球も生き物ではないでしょうか？この数十年を振り返ってみて、バブルに湧いた平成の初めから地球は人類に赤信号を送り続けて来たのではないのでしょうか、阪神淡路大震災・11年前の東日本大震災・6年前の熊本地震等に、雨が降れば各地を襲う豪雨災害、河川氾濫など、昨年は熱海伊豆山での人災とも言える土石流災害、日常の生活に有って当たり前、「空気・土・水」に感謝が足りなかったのではないのでしょうか、私たち御殿場・小山(RB)は、あつてほしくない災害のために備え、月一回はバイクの整備のほか、年一回 隊員の親睦を兼ねツーリングを実施、昨年は浜松のバイク神社「大歳神社」参拝ツーリングを行いました。

また、1月17日は、御殿場市災害ボランティア本部立ち上げ訓練が交流センター「ふじざくら」で行われ、参加者の皆さんに活動記録写真など「御殿場・小山（RB）」の活動を紹介しました。現在活動は低迷ですが、活動参加希望の方が居られましたら一報お待ちしております。



＜連絡先＞

御殿場・小山レスキューサポート・バイクネットワーク

〒412-0024 御殿場市東山 662-2

☎0550-83-2326

【バイク隊長：勝又正秀】 【担当：勝俣三郎】



## ～社会福祉法人十字の園御殿場十字の園～

御殿場十字の園は、1971年日本キリスト教団御殿場教会が発起人となり社会福祉法人十字の園の2番目の施設として開設されました。聖書の御言葉「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」を理念に掲げ、今では特別養護老人ホームだけでなく、ショートステイ、デイサービス、ホームヘルパー、グループホーム、居宅介護支援の介護保険関連事業、障害者総合支援関連事業のショートステイ、デイサービス、ホームヘルパー、ガイドヘルパー、その他事業として地域包括支援センター、介護タクシー、ケアハウスなど多岐にわたって展開しております。

現在はコロナ禍で難しい状態ですが、日頃はボランティアのみなさんに洗濯物たたみ、お話し相手や歌謡ショーなど様々な活動で支えられています。

また、セラピー見習い犬「セラちゃん」（コロナ禍で思うように訓練が受けられず見習い中ですが、）も出勤し職員をはじめ利用者みなさん、来客者など会う人の心を和ませ楽しませてくれます。

是非コロナが終息した際には、ボランティアに興味がある方はお気軽にご連絡ください。



<連絡先>  
(福) 十字の園御殿場十字の園  
〒412-0023 御殿場市深沢 1465-1  
☎0550-83-1999  
【担当：神戸】



セラちゃん

## ～介護老人保健施設Kanon～



当施設は、平成26年5月に市内萩原より新橋に移転し、早いもので8年の歳月が経とうとしています。以前の建物から移動され生活を継続されている利用者様達からは、フロアからの富士山を一望できる大展望に満足を頂いているとの声を伺っています。新規で入所された利用者様達からも、開放的で明るい雰囲気が入っており、個室的多床室も居心地が良いといった声を伺っています。

介護老人保健施設kanonは、要介護1～5の方がご利用できる施設であり、介護保険制度改正に伴い、長期的な入所利用は出来ませんが、地域に根付いた施設となるよう引き続き、ご利用者様やご家族の在宅復帰への手助けを行って参ります。通所リハビリは要支援の方もご利用出来ますので、ご担当のケアマネージャーにご相談ください。

また、以前は午前中のリハビリに特化したサービスを提供していましたが、近隣の方達からの要望に答えるべく、火曜・木曜の午後もサービスを提供しております。尚、地域住民の方々の活動の場となるべく、毎月第4木曜日午後より、元気になろう会の会場となっておりますので、地元の皆様のご参加をお待ちしております。



<連絡先>  
介護老人保健施設 Kanon  
〒412-0008 御殿場市新橋 1175-1  
☎0550-83-3567  
【担当：湯山大樹】

## ～東日本大震災復興支援10年を期して～

長いコロナ禍により、ボランティアの行事が出来ない2年間でしたが、この間唯一活動が出来た東日本大震災復興支援海産物購入には、会員の皆様や多くの方々からのご理解ご協力を頂き支援活動に結びつけることが出来まして誠にありがとうございました。お蔭をもちまして、昨年だけでも、震災10年目の3月・お盆の7月・暮れの12月と、合計1669袋 金額にして、849,500円と言う多大な支援をさせて頂きました。ご協力下さいました皆様方に、心より感謝申し上げます。

また、ご協力いただきました方からは、次の支援活動にも必ず声掛けをしてくれと心強い申し出を頂きました。次回の支援活動の際も宜しくお願い申し上げます。ありがとうございました。

御殿場市ボランティア連絡協議会

### 新規加盟団体紹介

#### ～災害VC御殿場～

VCとは言葉自体を知らない人が多いではないでしょうか？市役所、社会福祉協議会など一部の人しか分からないと思います。V=ボランティア・C=コーディネーターの略称であります。私たち、御殿場の会員は、被災地のボランティア活動の経験者で、「ふじのくに災害ボランティアコーディネーターの県知事認証」の取得者で構成しております。災害支援ボランティアとは、最近テレビや紙面等で紹介されていますが、災害ボランティアコーディネーターとは？被災者が早期に自立できる為にボランティア・行政・企業等と対等な立場で交渉や調整する人です。

大規模な災害が発生すると被災地にボランティアセンターが開設されます。先日、交流センター「ふじざくら」で開設訓練が行われましたが、熱海の土砂災害のように市内の一部の被災の場合には行政で対応できますが大災害においては、行政ではできない取組みの支援をする、1995年1月17日 阪神淡路大震災を背景に誕生しました。私たち災害VC御殿場は、第2金曜日交流センター「ふじざくら」ボランティアビューローにて活動しておりますので、ご興味ありましたら皆様のお越しをお待ちしております。



<連絡先>

災害VC御殿場

〒412-0008

御殿場市印野 1642-1

☎0550-89-0761

【会長：渡邊章夫】

#### 編集後記

今回の編集担当は「御殿場市身体障害者福祉会」、「御殿場・小山レスキューサポートバイクネットワーク」、「御殿場十字の園」、「Kanon」でした。

お問合わせ、ご意見等は、御殿場市ボランティア連絡協議会事務局までお願いいたします。

事務局 ■〒412-0042 御殿場市萩原 988-1 御殿場市民交流センター「ふじざくら」内  
社会福祉法人 御殿場市社会福祉協議会 ☎ 0550-70-6801 Fax 0550-89-5501